

7月のはなし



実家に95歳の母がいます。時々お世話に行くのですが、自分でできないことをいろいろ頼まれます。

「南の窓に簾をかけて」

「スリッパ、座布団を夏用に変えて」

「風鈴を付けて」

「敷物を花ござにして」

などなど頼まれました。最後に掛け軸を替えて夏を迎える準備ができました。

今どきはなかなかこのような夏支度はできないと思いますが、私は家に帰って、スリッパとクッションカバーを夏のものに替えて、風鈴を付けました。これだけでも夏を迎える心の準備はできました。

そして、先週から「ぬか漬け」を始めました。毎日かき混ぜて、きゅうり、なす、大根、キャベツ、いろいろなものを漬け込んでいます。そうめんとぬか漬けをいただくと夏が来たなと思います。

7月6日は東京で「朝顔市」があります。私も今年は「朝顔」を育ててみようと思います。千利休は茶室の横の朝顔が沢山咲いた時に「お茶会」をすることにしました。そのお茶会当日、お客様はびっくり、朝顔は一つだけ残してすべて刈り取られていたからです。きっと、この一つのあさがおは輝いて見えたことなのでしょう。朝顔というこの話を思い出します。

さて、7月22日から夏休みが始まります。いろいろご予定はあると思いますが、「夏ならではの体験」ができるといいですね。夏の体験を経て一回り大きくなった子どもたちと会う日を楽しみにしています。

良い夏休みをお過ごしください。

園長 宇佐美すみれ